

ガザの子どもたちへの 緊急支援



特定非営利活動法人
パレスチナ子どものキャンペーン



未曾有の人道危機

2023年10月以降、ガザ地区では少なくとも子ども約1万5000人を含む5万人以上が犠牲となり、11万人以上が負傷、避難民は190万人に達しています（2025年4月末）。2025年1月に一時停戦が発効したものの、3月以降再び情勢が悪化し、かつてない人道危機が続いている。戦闘再開後の犠牲者は2,000人を超えました。

激しい破壊の結果、家屋の92%が全壊もしくは半壊で、住む場所は十分になく、水道や電気などのインフラも機能していません。病院や学校も破壊され、人々は劣悪な衛生状態の中におかれています。

炊き出し

封鎖によってガザ地区への人道支援物資の搬入は減少。人々の91%が深刻な食料不安に直面しています。栄養失調になる子どもたちがおり、飢餓の警鐘が鳴らされ続けています。食材をかき集めて炊き出しを行い、8,500食分を提供しました。



子どもの居場所づくりと心理サポート

避難民の多くは女性と子どもたちです。家族や家をなくした子どもたちは120万人。子どもたちに心理サポートや学習の機会を提供しました。

■さん（7歳男児）の家庭は最貧困状態に喘いでいます。戦争によって、■さん一家はガザの北から南へと避難を強いられました。途中の検問所で父親が捕らえられ、母親ともはぐれ、妹と二人きりで検問所に取り残されました。スタッフたちは家族を探すため、避難所を何か所もまわり、ようやく母親を見つけて再会させることができました。■さんは身体の消耗がひどく、内向的になり、恐怖、不安などの心理的負担を抱え、おねしょをするなど社会生活にも大きな影響が出していました。

初めは活動に参加することを拒んで常に泣いていました。時間をかけて、心理サポートや学習支援などに■さんを参加させました。徐々に活動に興味を示すようになり、積極的に参加するようになりました。学習時間が始まる前に来て、スタッフと一緒に教材の準備をしています。



命を守る支援を！

2024年度の平和カンパは、これらの緊急人道支援に活用しました。心から御礼申し上げます。

2025年度も、信頼できる現地のパートナー団体とともに、「命を守る」緊急支援を続けていきます。戦火と封鎖によって人道危機にあるガザで、人々が生き残るために、引き続きご協力をお願いいたします。

